

平成23年度
北秋田市教育委員会
点検・評価報告書

平成24年9月
北秋田市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第27条の規定に基づき、平成23年度の教育委員会の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

北秋田市教育委員会委員名簿

（平成24年3月31日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	加 賀 隆 寛
委員長職務代理者	佐 藤 正 俊
委 員	藤 原 高 司
委 員	吉 田 美 樹
委員兼教育長	三 澤 仁

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価

点検及び評価の対象年度 平成23年度

構成内容

- 1 教育委員会議の開催状況
- 2 教育委員会議での審議状況
 - 平成23年度 教育委員会審議案件一覧
 - （1）平成23年度 教育委員会議案案件
 - （2）平成23年度 教育委員会その他案件
- 3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】
- 4 主要施策点検・評価表【施策個別点検・評価】

1 教育委員会議の開催状況

教育委員会議については、原則として毎月1回の「教育委員会定例会」と状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催している。平成23年度は、合計で14回開催した。

- (1) 教育委員会定例会・・・12回
- (2) 教育委員会臨時会・・・2回

2 教育委員会議での審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第6号）第2条の規定に基づき、平成23年度は、合計で23件について審議した。

平成23年度 教育委員会審議案件一覧

(1) 平成23年度 教育委員会議案案件

議案番号	件名	提出日
25	北秋田市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	4月28日
26	北秋田市教育委員会公印取扱規則の一部を改正する規則の制定について	4月28日
27	北秋田市大阿仁公民館非常勤館長の任命について	4月28日
28	北秋田市スポーツ振興審議会委員の任命について	4月28日
29	北秋田市教育委員会教育委員長の選挙について	5月14日
30	北秋田市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について	5月14日
31	北秋田市教員住宅条例の一部を改正する条例の制定について	5月26日
32	北秋田市立小中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	7月28日
33	北秋田市立小中学校給食調理場条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	7月28日
34	北秋田市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例の制定について	8月25日
35	北秋田市体育指導委員規則の一部を改正する規則の制定について	8月25日
36	工事請負契約の締結について（米内沢小学校校舎改築工事）	8月25日
37	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	8月25日

議案番号	件名	提出日
1	北秋田市公民館図書室管理規則の一部を改正する規則の制定について	1月26日
2	北秋田市図書館管理規則の一部を改正する規則の制定について	1月26日
3	北秋田市教育センター条例の一部を改正する条例の制定について	2月23日
4	北秋田市立小中学校条例の一部を改正する条例の制定について	2月23日
5	北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定について	2月23日
6	北秋田市図書館条例の一部を改正する条例の制定について	2月23日
7	北秋田市社会教育中期計画の策定について	2月23日
8	県費負担職員の内申について	3月7日
9	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	3月22日
10	北秋田市公民館非常勤主事の任命について	3月22日

※ 議案番号は、暦年による一連番号を付した。

(2) 平成23年度 教育委員会その他案件

番号	件名	提出日
1	平成23年度教育委員会機構図及び各課の事務分担について	4月28日
2	小中学校の運動会日程について	4月28日
3	北秋田市立小中学校評議員一覧について	5月26日
4	6月議会定例会提出補正予算について	6月23日
5	9月議会定例会提出補正予算について	9月29日
6	12月議会定例会提出補正予算について	12月22日
7	卒業（卒園）式、入学（入園）式の日程について	1月26日
8	3月議会定例会提出平成23年度補正予算（第9号）について	3月22日
9	平成24年度当初予算について	3月22日
10	平成24年度教育委員会人事異動について	3月22日
11	入学（入園）式日程について	3月22日

3 教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成23年度における教育委員会の当初予算は20億1,508万6千円であったが、7,496万8千円の減額補正となり、合計が19億4,011万8千円で、前年度予算と比較して3億5,664万4千円、割合にして約16%減少している。また、一般会計に占める教育費の割合は約8.6%で、前年度に比べ約1.9%減少している。歳出の主な減少要因としては、北秋田市立合川高等学校の廃止による影響が大きい。

平成23年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、別紙のとおり62の事業について実施した。全体的に総括すると以下のとおりである。

「有効性」については、10項目にわたって期待以上の成果が得られた。中でも米内沢小学校校舎等建設事業（有効性：2）、合川小学校校舎等建設事業、小学校校舎等内外改築事業及び小学校耐震化事業については、現在も進行中のものもあるが、これらの事業により、一層、安心・安全な学習環境の整備並びに小学校校舎の耐震化が図られた。一方、陶芸ハウス運営事業、あいターミナル運営事業はハード面の問題により本年度は有効的な事業を展開することができなかった。しかし、陶芸ハウスは屋根等改築工事が終了し、利用を再開しており、あいターミナルについてもパソコン機器を借り上げる形で、本年9月には講座を開催できる見込みである。

「費用対効果」については、学校生活サポート事業により特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に対し、支援員を配置し、学校生活や学習上の困難を改善又は克服するためきめ細かで適切な指導及び支援を行い、対象児童生徒が充実した学校生活を送るなど、大きな成果を上げている。また、放課後子ども教室推進事業及び学校支援地域本部事業では、ボランティアの協力を得ながら活性化した取り組みを実施することができた。学童研修センター（リフレッシュ学園）事業は、一部県委託費を充てながら、心の問題に悩む子どもたちに体験活動をとおしてリフレッシュを図る機会を提供する有意義な活動を行っているが、施設の老朽化等により、維持管理面で課題を抱えている。

「必要性」については、必要性が高い及び必要不可欠の事業が大半である。それでも、近年の社会の急激な変化は、学校や子どもたちを取り巻く環境を大きく変えてきており、「風土や人情の豊かさ」を再認識し、未来を担う青少年へ新たな付加価値を加えて、ふるさとに愛着を持つ青少年を育成することが課題となっているため、学校におけるふるさと学習推進事業、社会における青少年育成事業などの地道な取り組みに期待したい。また、文化振興事業については、伊勢堂岱遺跡の空中写真測量を実施し、伊勢堂岱遺跡環境整備検討委員会を開催するなど、環境整備に向けた取り組みが進められた。文化財の利活用と啓蒙周知活動を目的として開催された指定文化財の建造物の見学会は、参加者の関心も高く、好評を得ている。

「方向性」については、5項目について廃止・休止があったが、ほとんどは事業目的が達成し、終了したものである。しかし、幼稚園運営事業については少子化の影響から園児数減少に歯止めが掛からず、今後、廃止を含めた検討が必要と判断した。情報通信技術環境整備事業は、テレビ放送完全デジタル化への対応が終了し、パソコン導入事業との統合を図っていく。また、婦人学級開設事業は、高齢化や会員減により退会する学級が増えているため、事業を縮小し、継続していく。

北秋田市教育委員会では、米内沢小学校校舎建設事業及び合川小学校校舎建設事業を初めとした大事業が継続中である。また、平成26年度に秋田県で開催される国民文化祭を控えており、当市の取り組みを推進する必要がある。社会問題もより多様化している中で、今後も報告書についてのご意見を伺いながら、北秋田市の教育の活性化に努めてまいりたい。

平成24年 8月30日

北秋田市教育委員会

4 主要施策点検・評価表【施策個別点検・評価】

有効性・・・・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
 費用対効果・・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
 必要性・・・・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
 方向性・・・・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

1 学校閉校記念事業・創立記念事業補助金事業			主管課	総務課	
予算現額	3,850千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	4
活動内容	学校閉校記念事業又は10周年ごとの創立記念事業を行う際に、一定の補助を行うことにより、事業の円滑な運営を図る。				
点検・評価	<p>学校閉校記念事業補助金としては、平成23年度末で閉校となった合川西小学校及び合川南小学校に各1,500,000円の補助を行い、記念碑の建立や記念誌の発行、閉校記念式典の一部、その他の経費に充てられ、盛大に閉校記念事業が開催された。</p> <p>また、鷹巣西小学校創立40周年記念事業に850,000円の補助を行い、ステージ横幕の新調、ブロンズ層の補修及び記念誌発行の一部に充てられた。</p> <p>随時の事業ではあるが、平成24年度末をもって浦田小学校の閉校が計画されており、本事業の有効的な活用を図りたい。</p>				

2 幼稚園就園奨励費補助金事業			主管課	総務課	
予算現額	1,593千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	幼稚園に通園させている保護者の方で一定の要件に該当する方に、授業料支払いによる経済的負担を軽減するため、所得状況に応じ授業料等の減免を行う。				
点検・評価	<p>少子化対策事業の1つとして、北秋田市内在住で市立幼稚園においては4歳児、5歳児、私立幼稚園においては満3歳児、3歳児、4歳児、5歳児を通園させている方で一定の要件に該当する方に対し、本年度は19人、1,522,428円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>なお、この内2人は、東日本大震災により被災し、新たに市町村の就園奨励対象となった幼児に、就園奨励事業にかかる所要経費を補助する被災幼児就園支援事業として補助した180,108円が含まれる。</p> <p>一部、国庫補助金を充当しており、事業へのニーズも高いが、所得状況により補助額が変動するため、不況下には事業費が増加することも想定される。</p>				

3 すこやか子育て支援事業			主管課	総務課	
予算現額	1,179千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	社会全体で子育てを支えていくとの考えのもと、子どもの幼稚園への入園等に伴う子育て家庭の経済的負担を軽減することにより、生活基盤の弱い世帯が安心して子どもを産み育てることができる環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>幼稚園就園奨励費補助金事業によって減免される分を除き、幼稚園に在園する幼児並びに保護者が北秋田市の住民で、保護者又は扶養者の所得が制限内である方に対し、一定の要件のなかで本年度は20人、1,109,056円の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られた。</p> <p>特に、平成23年度からは市立たかのす幼稚園授業料の引き上げもあったため、事業対象者の経済的負担軽減の効果は大きかったと考える。</p> <p>一部、県補助金を充当しており、事業へのニーズも高いので、県の制度を利用しながら事業を継続していく。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

4 学童研修センター（リフレッシュ学園）運営事業			主管課	総務課	
予算現額	11,931千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	人間関係の悩みやストレスを抱え、心の問題に悩む全国の子どもたちを対象に、自然体験や物作り体験など、さまざまな体験活動を通して心と体のリフレッシュを図る機会を提供する。				
点検・評価	<p>今年度は14人（県外2人）の小・中学生と高校生が延べ656日在園し、利用日は217日で、1日あたり3.0人が利用した。在園した中学3年生6人中4人は希望高校に入学し、元気に高校生活を送っている。また、学校復帰や学校と学園を行き来できるようになるなど、学園の存在意義は高い。</p> <p>北秋田市の「さわやか教室」や市内各学校との連携も図りながら、事業を展開していくことが必要である。また、一部県委託費を充当しているが、平成28年度に県が不登校支援の施設の設置を検討しており、その動向を見極めながら事業を継続する必要がある。</p> <p>施設の老朽化等により、維持管理面では課題を抱えている。</p>				

5 米内沢小学校校舎等建設事業			主管課	総務課	
予算現額	162,683千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	平成25年4月の米内沢小学校新校舎竣工に向け、委託及び工事等の施工により、学習活動に必要な環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>委託では、校舎建築工事確認申請業務委託、プール解体工事設計業務委託、プール建設工事設計業務委託、体育館耐震補強工事実施設計業務委託等を行った。</p> <p>工事では、小学校校舎建築工事（平成23年度分）、プール解体工事、仮駐車場整備工事等を実施した。</p> <p>工事の進捗状況は、平成23年度末現在、校舎建築工事が約10%で計画どおりに進んでおり、平成24年10月31日に完成見込みで、その他平成24年度は、太陽光発電設備工事、体育館耐震補強工事等を予定している。</p> <p>児童の安全を確保しながら、事業の推進を図ることが必要である。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

6 合川小学校校舎等建設事業			主管課	総務課	
予算現額	5,938千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活動内容	平成27年4月の合川小学校新校舎竣工に向け、今後の実施設計に必要な調査及び基本設計を実施する。				
点検・評価	<p>平成23年度をもって合川西小学校、合川南小学校を廃止し、新設された合川小学校について、平成27年度に合川東小学校及び合川北小学校を統合し、新校舎を竣工することに向けて、平成23年度は校舎建設基本設計業務委託、地質調査業務委託、現地測量業務委託を実施した。</p> <p>平成24年度は用地買収、農振除外申請手続、校舎建設実施設計委託等を予定しているが、課題を解決しながらスケジュールに沿って事業を進めることが重要である。</p>				

7 小学校校舎等内外改修補修事業			主管課	総務課	
予算現額	6,469千円(現年) 27,831千円(繰越明許)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心して快適な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>繰越明許費では、一部きめ細かな交付金事業を活用し、米内沢小学校校舎等建設事業に伴う樹木移設工事、相撲土俵移設工事、また、鷹巣小学校の校舎屋根塗装工事を実施した。</p> <p>現年分としては、大阿仁小学校プールろ過装置ろ材交換工事、鷹巣東小学校体育館排煙窓開閉装置改修工事、合川西小学校理科家庭科室給排水管改修工事等、20件の工事を実施した。</p> <p>校舎等内外の改修工事等は、安心して快適な学習環境の整備のために予算内で最大限の効果を発揮しているものの、施設の老朽化により改修箇所が増加してきており、十分な対応が出来ない状況である。しかし、現状を考えると、今後ますます重要性が増してくるものと考ええる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

8 小学校耐震化事業			主管課	総務課	
予算現額	1,790千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	小学校の耐震補強工事を実施し、安心・安全な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>全額、国庫交付金（学校施設環境改善交付金）を活用して鷹巣南小学校耐震補強工事を実施し、小学校の耐震化率は72.5%（昨年66.7%）となった。</p> <p>今後、平成25年度に竣工する米内沢小学校新校舎と平成27年度に竣工する合川小学校新校舎が完成すれば、耐震化が実施されていない小学校が鷹巣西小学校のみとなるので、早急に方向性を定める必要がある。</p>				

9 小学校情報通信技術環境整備事業			主管課	総務課	
予算現額	483千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	3
活動内容	平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化への対応を図るため、北秋田市内の小学校職員室に地上デジタルテレビ及び地上デジタルテレビ対応チューナーを整備する。				
点検・評価	<p>全ての小学校普通教室については、平成22年度までに国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、50インチの地上デジタルテレビが整備済みであるが、平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化に向け、未対応の小学校職員室に地上デジタルテレビ（10校）及び地上デジタルテレビ対応チューナー（5校）を整備した。</p> <p>平成24年度に浦田小学校と合川小学校、平成25年度に大阿仁小学校に電子黒板機能を整備する予定で、全ての小学校に電子黒板機能が整うことになる。</p> <p>今後は、電子黒板機能を活用した授業の展開について、取り組みを進めることが重要であるが、テレビ放送完全デジタル化への対応が終了し、ハード面の整備も概ね終了しつつあるので、小学校パソコン導入事業との統合を図る。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

10 小学校パソコン導入事業			主管課	総務課	
予算現額	(賃借料) 31,326 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	(保守料) 8,788 千円	2	2	3	4
活動内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。				
点検・評価	<p>パソコンの入れ替えは、5年間のリース期間（保守契約を含む。）満了後、3年間の保守契約期間を経て8年更新で実施しており、平成23年度は鷹巣小学校、綴子小学校及び鷹巣西小学校の入れ替えを行った。リース期間となっているものは、上記の3校を含む13校となっている。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。</p> <p>文部科学省では「教育の情報化ビジョン（骨子）」を示しており、学びの場の情報通信技術の活用は、今後ますます多様化することが予想されることから、新たな情報通信機器の導入並びにサポート体制の構築が課題となる。</p>				

有効性・・・・・・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果

費用対効果・・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果

必要性・・・・・・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠

方向性・・・・・・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

11 中学校校舎等内外改修補修事業			主管課	総務課	
予算現額	9,091千円(現年)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	71,400千円(繰越明許)	3	3	3	5
活動内容	校舎等内外の改修工事等の施工により、安心して快適な学習環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>繰越明許費では、全額、きめ細かな交付金事業を活用し、鷹巣南中学校校舎屋根塗装工事、森吉中学校校舎屋根改修工事及び阿仁中学校旧体育館解体工事を実施した。</p> <p>現年分としては、森吉中学校プールろ過装置ろ材交換工事、森吉中学校キュービクル機器改修工事、阿仁中学校屋外消火栓配管漏水補修工事等、12件の工事を実施した。</p> <p>校舎等内外の改修工事等は、安心して快適な学習環境の整備のために予算内で最大限の効果を発揮しているものの、施設の老朽化により改修箇所が増加してきており、十分な対応が出来ない状況である。しかし、現状を考えると、今後ますます重要性が増してくるものと考えます。</p> <p>中学校の耐震化率は、平成22年度までに100%となっており、安全性の確保が図られている。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

12 中学校情報通信技術環境整備事業			主管課	総務課	
予算現額	226千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	3
活動内容	平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化への対応を図るため、北秋田市内の中学校職員室に地上デジタルテレビを整備する。				
点検・評価	<p>全ての中学校普通教室については、平成22年度までに国庫補助事業である学校情報通信技術環境整備事業費補助金及び地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用して、50インチの地上デジタルテレビが整備済みであるが、平成23年7月のテレビ放送完全デジタル化に向け、未対応の中学校職員室に地上デジタルテレビ（5校）を整備した。</p> <p>小学校については、全ての学校に電子黒板機能が整備されつつあるが、今後、中学校の電子黒板機能の導入について検討が必要である。</p> <p>テレビ放送完全デジタル化への対応が終了し、ハード面の整備も概ね終了しつつあるので、中学校パソコン導入事業との統合を図る。</p>				

13 中学校パソコン導入事業			主管課	総務課	
予算現額	(賃借料) 19,043千円 (保守料) 1,891千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。				
点検・評価	<p>パソコンの入れ替えは、5年間のリース期間（保守契約を含む。）満了後、3年間の保守契約期間を経て8年更新で実施しており、平成23年度は鷹巣南中学校の入れ替えを行った。現在は、全ての中学校がリース期間となっている。</p> <p>パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。</p> <p>文部科学省では「教育の情報化ビジョン（骨子）」を示しており、学びの場の情報通信技術の活用は、今後ますます多様化することが予想されることから、新たな情報通信機器の導入並びにサポート体制の構築が課題となる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

14 幼稚園運営事業			主管課	総務課	
予算現額	23,700千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	1	1	1
活動内容	北秋田市立たかのす幼稚園において、家庭との連携を図りながら、幼稚園教育の基本に基づいて展開される幼稚園生活を通して生きる力の基礎を育成し、義務教育及びその後の教育の基礎を培う。				
点検・評価	<p>①自分らしさを生かし、遊び込める子どもの育成、②主体的に生活するための環境構成を重点目標として、4歳児5人、5歳児6人の合計11人の幼児を対象に、様々な遊びをとおして健康な心と体の育成や自立心・人とかかわる力の育成、学習意欲の向上を図った。</p> <p>平成23年度からは、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令（平成16年文部科学省令第16号）とのかい離を是正するため、授業料を月額4,500円から月額5,300円に引き上げを行った。</p> <p>年々、園児が減少しており、平成24年5月1日現在の園児数は9人となっている。今後、園児数の増える見込みも少ないため、廃止を含めた検討が必要である。</p>				

15 幼稚園・保育所等自家発電機整備事業			主管課	総務課	
予算現額	289千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	1
活動内容	災害時の停電等に備え、北秋田市立たかのす幼稚園の必要な電源を確保するため、自家発電機を整備する。				
点検・評価	<p>災害時において、緊急に保護者が幼児を迎えに来られない場合を想定し、停電等に備えて最低限の電力を確保するため、全額、県の補助事業を活用して自家発電機を購入し、防災物品の整備を図った。</p> <p>非常時の使用に支障をきたすことのないよう、定期訓練の実施と維持管理体制の構築が重要である。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

16 不登校児童生徒対策事業			主管課	学校教育課	
予算現額	1,542千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田さわやか教室に指導員1人を配置し、生活支援や個別に学習支援を必要とする児童生徒への支援を図る。				
点検・評価	<p>市内の小中学校を訪問し、学校との情報交換とさわやか教室の利用説明を行い、不登校児童生徒の状況に応じ、学校と連携しながら計画的に支援にあたっている。</p> <p>1人の生徒が6月より通級し、無理のない計画で学習に取り組み、所属学校に足を運ぶ回数も増えてきた。</p> <p>学校の不登校対応の選択肢の一つとして、児童生徒や保護者に応じた支援の在り方を工夫するよう努めていかなければならない。</p>				

17 教育センター事業			主管課	学校教育課	
予算現額	8,040千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田市の教育に関する調査・研究、教育関係者の研修を行い、教育の振興を図る。また、北秋田市の学校教育の基本理念の具現化を目指す。				
点検・評価	<p>児童生徒一人一人に「自ら学び自ら考える力」、「これからの社会を主体的、創造的にたくましく生きる力」を身に付けさせるための研修を推進した。</p> <p>4月に学力調査を実施。調査結果をまとめた冊子を活用し、9月に授業研究会と学力向上対策の協議をし、「分かる・できる・魅力ある授業実践」に取り組んでいる。各校のミドルリーダーとして活躍する教務主任・研究主任・生徒指導主事などの市内ネットワークが機能し、充実した研修が行われ、活力ある学校づくりを支援している。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

18 学校生活サポート事業			主管課	学校教育課	
予算現額	29,190千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍している学校に対し、支援員を配置し、学校生活全般にわたって対象児童生徒及び学級担任の支援を行う。				
点検・評価	<p>平成23年度は障害児支援において21人（15校）、日本語支援(対象児童卒業に伴い23年度で終了)において1人（1校）の支援員を配置し、生活支援や学習支援等を行った。</p> <p>対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒や学級担任にとっても大きな成果となっている。</p> <p>今後は、児童生徒の自立に向けた支援方法、進路指導の在り方についての研修の充実を図っていく必要がある。</p>				

19 小学校備品等購入事業			主管課	学校教育課	
予算現額	20,822千円（現年）	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	6,000千円（繰越明許）	3	2	3	5
活動内容	各小学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで学習活動の充実を目指す。特に23年度は教科書改訂に伴い、教師用指導書及び教材の充実に努めた。				
点検・評価	教育予算減の中で、各校で工夫しながら事業が展開されている。今後も事業を継続し活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

20 中学校備品等購入事業			主管課	学校教育課	
予算現額	3,725千円(現年)	有効性	費用対効果	必要性	方向性
	4,000千円(繰越明許)	3	2	3	5
活動内容	各中学校において教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	教育予算減の中で、各校で工夫しながら事業が展開されている。今後も事業を継続し活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

21 要保護及び準要保護児童生徒援助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	25,225千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	経済的に困難な保護者に対し、学用品費等・医療費・学校給食費を援助することで児童生徒の就学を支援する。				
点検・評価	平成23年度は要保護認定者20人、準要保護認定者269人、特別支援認定者18人の児童生徒の保護者に対して区分に応じて援助を行った。 児童生徒数が減少している中、様々な理由により事業への申請率は年々増加しており、事業の継続が強く求められている。				

22 遠距離通学補助事業			主管課	学校教育課	
予算現額	4,523千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	小学校4km以上、中学校6km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関を利用する児童生徒に運賃相当額を補助することにより、円滑な就学を図る。				
点検・評価	学校生活時間に合う利用可能な時間帯で運行している路線バスを使って、53人(小3校、中3校)の児童生徒が安全に登下校することができた。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

23 スクールバス運行事業			主管課	学校教育課	
予算現額	43,957千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	遠距離通学者の登下校の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行することで、児童生徒の円滑な就学と安全・安心の確保に資する。				
点検・評価	スクールバス11台により307人（小9校、中5校）の児童生徒が利用しており、登下校の安全確保と円滑な教育活動の展開に必要な事業である。				

24 児童生徒大会派遣費補助事業（小中学校）			主管課	学校教育課	
予算現額	11,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	全県大会以上の大会に出場する児童生徒・引率者に、交通費、宿泊費及び参加料を補助し、児童生徒の知育・体育・徳育の伸長と健全育成を図る。				
点検・評価	上位大会出場という目標を持って市内の児童生徒、学校の教職員は活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効と思われる。				

25 ふるさと学習推進事業			主管課	学校教育課	
予算現額	1,000千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	総合的な学習の時間、生活科、学校行事等において各校では様々な体験活動が行われており、本補助事業も活用しながら特色ある教育活動が展開されている。				
点検・評価	様々な体験活動をとおして社会性の向上、自己有用感の向上などが求められており、本事業の継続は必要である。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
 費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
 必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
 方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

26 外国青年招致事業（小中学校）			主管課	学校教育課	
予算現額	22,514千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	4
活動内容	A L Tを5人配置し、小学校における外国語活動及び中学校における英語教育と国際理解教育の充実に資する。				
点検・評価	平成23年度から小学校において外国語活動が本格的に導入することを受け、市内の全小学校では平成21年度から先行実施が行われている。各中学校区に1人のA L T配置により大きな成果が見られ、この体制での事業の継続が望まれる。				

27 学校保健事業			主管課	学校教育課	
予算現額	17,588千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	健康診断の実施により児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に結びつける。				
点検・評価	各校において健康診断後の事後指導も継続して行われており、学校保健安全法に基づく本事業の継続は必要である。				

28 フッ素洗口事業			主管課	学校教育課	
予算現額	431千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	5
活動内容	市内全小・中学校において希望者を対象としてフッ素洗口を実施する。				
点検・評価	<p>学校保健統計調査によると、本県の子どもたちの虫歯の本数が全国平均を大きく上回るなど、歯の健康は決して好ましい状況にはない。</p> <p>フッ素洗口は、週に1回程度の実施でも長期にわたって継続することで虫歯予防に大きな成果が現れると言われており、本市においても希望者を対象に事業を展開している。まだ希望していない児童生徒も少数いるが、各学校において事業の趣旨や成果を周知することで、近い将来全ての児童生徒が実施し、虫歯予防に役立てるよう事業を展開したい。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

29 青少年育成事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	640千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>非行防止、地域環境浄化活動、あったか声かけ運動、秋田ふれあいサンサンデーの実施、森林環境学習を取り入れた小学生による社会貢献活動、子どもによる伝承芸能発表会など、青少年育成北秋田市民会議の青少年健全育成事業を展開するとともに、青少年育成他団体及び関係機関等による北秋田市青少年問題協議会を開催する。</p>				
点検・評価	<p>青少年を地域全体で見守り育成する活動を実施することにより、地域の大人が青少年育成に取り組む機会が拡充した。</p> <p>また、青少年問題協議会は、秋田北鷹高等学校を会場に高校生と委員との初の「男女交際ワークショップ～命をみつめて～大人と語ろう 男女交際とは何？」を開催するなど、他団体や学校機関との連携を強化し、情報収集や共通課題解決に向けて取り組んだ。今後もさらに、情報を共有し青少年問題を地域全体で考える機会が必要である。</p>				

30 少子化対策・子育て支援事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	1,866千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>今年度は新たに、幼・保・小中学校機関を対象とした事業として、希望のあった幼・保9機関、小学校9校において20回の「家庭教育講座」を実施する。また、3年目となった北秋田市子ども会育成連合会事業を開催する。</p>				
点検・評価	<p>親、祖父母や園児・児童、教職員を対象に、親子のふれあい、命の授業、絵本の大切さ、情操教育等のほか、3.11大震災後の家族の大切さなど、各機関の課題に沿った内容を設定し、講座を開催した。</p> <p>幼保から小学校へと一貫した講座開設事業となり、より一層「家庭教育」の重要性を認識するとともに、中学校での講座開設も必要となる。</p> <p>また、北秋田市子ども会育成連合会事業における子どもたちの交流や親子参加型の事業を推進しながら子育て支援に活かせるよう期待されている。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

31 放課後子ども教室推進事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	6,315千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	3
活動内容	小学生を対象に放課後の安全・安心な子どもの活動場所を確保するとともに、体験活動を中心に大勢で遊んで学ぶことにより、子どもたちの豊かな人間形成を目指す。				
点検・評価	全ての児童を対象に市内14か所で放課後児童クラブと連携し、地域ボランティアによる自然体験や、異学年の子どもとの交流、また、地域住民との交流事業等を行った。 身近で気軽に地域教育力を発揮できる場となっている。				

32 放課後児童クラブ運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	59,315千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	3
活動内容	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後、土曜日、長期休暇等に、家庭に代わって安全な生活の場と遊びの場を確保し、児童の健全育成を図る。				
点検・評価	鷹巣地区6クラブ、合川4クラブ、森吉2クラブ、阿仁2クラブ、計14か所に開設。登録児童数は、鷹巣地区215人、合川地区171人、森吉地区117人、阿仁地区29人、計532人（加入率：全児童の約36%）。 年々加入率が増加しており、共働き世帯等にとって必要不可欠な事業となっている。遊びの場として児童館機能も期待されている。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

33 学校支援地域本部事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	2,138千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活動内容	<p>国・県の補助事業3年目となる鷹巣南小学校に、新たに5校が加わり、4年目となった大阿仁小学校は、単独実施校として実施する。個人の持つ特技や経験をより多くの学校教育現場で活用し、地域ぐるみで子どもを育てることで住民の生き甲斐づくりへつなげ、支援ボランティアの拡大を図りながら、地域全体の教育力を向上させる。</p>				
点検・評価	<p>3年目の鷹巣南小学校では、より多くの住民が学校活動へ支援する体制を整え、環境整備、登下校時の安全確保、育林活動、伝承芸能、ふるさと学習、読み聞かせ活動、学校行事等、様々な活動を展開した。</p> <p>新たな実施校（鷹巣東小学校、綴子小学校、鷹巣中央小学校、前田小学校、合川西小学校）においても、学校の実情にあわせたきめ細かな支援活動を実施し、地域と学校との連携がより強化された。</p> <p>また、単独実施の大阿仁小学校では、地域住民による学校支援地域ボランティアグループが結成され、これまでの事業を継続・拡大する方向性を確立できたことは大きな成果となった。</p>				

34 成人式事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	858千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことの自覚を促し、自らの強い意思と責任をもって生き抜くよう激励する。</p>				
点検・評価	<p>成人としての自覚や責任を促すよう、一堂に会して式典を行うことは有意義であった。また、市内在住者だけではなく市内中学校卒業者を対象とすることで、故郷を離れた新成人が郷土の良さを見直すきっかけになったと思う。</p> <p>今後は、成人がもっと積極的に成人式にかかわるような取り組みが必要と考える。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

35 高齢者学級事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	1,108千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	生きがいつくりにつながる学びの場を提供し、仲間との交流をととした学習活動を支援する。				
点検・評価	<p>市内4地区にある高齢者大学では、各種講座や移動研修、クラブ活動などをおして多くの学生が学んだ。</p> <p>所属しているクラブで経験したことを発表する機会もあり、学びの中から喜びや新たな生きがいのある大学である。</p>				

36 日本語教室事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	437千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	外国から嫁いできている方々を対象に、日常生活が円滑におくれるように日本語指導教室を開催する。月3回程度の開催で、中央公民館主催の「生涯学習フェスタ」でも活動を紹介した。				
点検・評価	<p>定住するうえで必要不可欠な日本語の実践能力を向上させるため、参加者のレベルに合わせ3コースを設定し、講師と指導ボランティアが細かな指導を行っており、その意義は大きい。</p> <p>また、受講生が「生涯学習フェスタ」等生涯学習事業に積極的に参加することで、地域とのつながりができた。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

37 公民館講座開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	5,164千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	<p>各公民館を拠点として各種講座を開催することにより、気軽に学習しながら知識及び技術を習得し、自主的に学ぶ意欲を向上させる。</p> <p>各種サークルへ活動の場を提供し、作品展示や発表の支援を行う。</p>				
点検・評価	<p>各公民館ごとに事業が展開され、身につけた知識や教養を「公民館まつり」「文化交流のつどい」等で発表するなど順調に開催された。大震災を受けて、防災や環境・エコ・ボランティア活動などをテーマにした講座や家庭教育支援につながる父親参画を内容としたアウトドア事業などを実施し、地域の課題を見つけるきっかけになった。</p> <p>また、中央公民館では「第2回生涯学習フェスタ」を開催し、公民館を利用している自主サークル・学校支援地域本部事業の活動紹介や実演など入場者参加型の多彩な内容を盛り込み、昨年に引き続き好評を博した。</p> <p>今後も、趣味実用型の講座とは別に、知の循環を目指した協働活動を推進するため、親子で地域活動に参加する取り組みや、「北秋田市チョコボラ・プロジェクト（チョッと公民館でボランティア）」を継続しながら、地域課題を解決する時代のニーズを的確に把握し、世代間交流をしながら誰でも参加することのできる事業の展開が必要と思われる。</p>				

38 婦人学級開設事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	139千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	2
活動内容	<p>地域で活動する団体へ学習支援・援助を行う。</p>				
点検・評価	<p>鷹巣地区の17婦人学級のうち、7学級で13学習会を開催。内容は、くず米や塩麴など話題性のある料理教室のほか、環境・エネルギー問題等、趣味嗜好に加え、各婦人学級の課題に沿った学習会を開催した。</p> <p>年々高齢化や会員減などにより退会する学級も増え、学習会開催が難しくなってきたことが課題である。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

39 花いっぱい運動推進事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	450千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	花の美しさは人の心に潤いを与え、花いっぱいの輪は和やかな生活と明るい社会を築くうえで大きな役割を果たす観点から、花いっぱい運動推進協議会への助成を行い、市全体への拡大周知をねらう。				
点検・評価	協議会の主催する「花だんコンクール」には婦人会や高齢者グループなど、6個人、17団体計23件の応募があった。 花を育てることにより心を豊かにする運動として、市内全域での取り組みが見られる。 活動費の補助金が年々減額されるので改善願いたい。				

40 公民館改修事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	7,245千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	各公民館施設が老朽化しているため、年次的に修理工事を実施するものである。				
点検・評価	今年度は、沢口公民館の屋根改修工事の実施により、雨漏りによる施設劣化を防止できた。				

41 陶芸ハウス運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	4,452千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	2	4
活動内容	市民の陶芸作品等の創作活動を支援する。				
点検・評価	平成22年11月に発生した火災による屋根等改築工事が行われたため、例年どおりの利用はできなかったが、窯焼き前の作品等の創作活動は、陶芸ひまわりの会を中心に行った。 今後、幅広く市民が参加できる利用方法や窯の更新など検討が必要である。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

42 あいターミナル運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	3,184千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	1	2
活動内容	複合的な施設であり、情報通信教育や駅舎及び観光の発信等が考えられるが、情報通信機器の体験の場として事業継続している。				
点検・評価	現在あるパソコン機材が古く、要望のあった講座を開催することができなかった。事務室にあるインターネットの利用や日常的な一般市民に対するパソコン操作の指導は職員（事務補助）が行った。 パソコンの更新については、費用面で難しい現状である。				

43 文化振興事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	29,367千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	国指定の文化財について、伊勢堂岱遺跡について発掘調査は終了し、環境整備に向けた空中写真測量を実施するとともに、伊勢堂岱遺跡環境整備検討委員会を実施した。胡桃館遺跡は今後の方向性を検討するため、胡桃館遺跡調査検討委員会を行った。 文化財の利活用と啓蒙周知活動として、指定文化財の建造物の見学会を実施した。				
点検・評価	伊勢堂岱遺跡について、今後は伊勢堂岱遺跡の特性を生かした環境整備のための整備計画の検討と推進が急務となる。胡桃館遺跡については、文化庁の注目度・評価も極めて高く、関連分野の専門家の意見を伺いながら、今後の保護及び適切な保護のための調査の方向性を確定し、長期的な計画を立案していく必要がある。 文化財の見学会では、3回目となる「建造物巡りバスツアー」で約30人の参加があり、関心の高さが窺われた。参加者からは定期的な開催を望む声が多く聞かれ、継続した取り組みとする必要がある。				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

44 図書館（室）事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	77,575千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	<p>地域住民の利用に供することができるよう、多様化する情報を的確に捉え、資料の収集・整理・保存に努める。また、市内図書館・図書室の連携を図るとともに、県立図書館等との相互協力により利用者のニーズに応えながら読書活動を推進する。図書館ボランティアとも連携を取りながら、読み聞かせ等の活動により児童生徒の読書活動を推進する。図書資料を充実させるとともに、市内図書館・図書室のネットワーク化し、各館相互のスムーズな連携をとり利用者の要求にも迅速な対応ができるようにする。書架棚の整備、閉架書庫の設置により、館内の環境の改善と耐震性の向上を図る。</p>				
点検・評価	<p>県立図書館・市内図書館・図書室等と相互協力を図りながら住民の学習を助け、必要な情報を提供することができた。また、貸出冊数5冊と増やし貸出期間を15日間に長くしたことで、利用の促進につながっている。鷹巣図書館のボランティア「たまたまばこ」が毎月1回のペースで子供たちに読み聞かせ会を実施して、低学年の読書活動の向上に努めた。</p> <p>市内図書館のネットワーク化により各館の連携がスムーズになり、迅速で正確な管理運営ができるようになった。森吉図書館に閉架書庫増設、書架の整備を行い、環境改善と耐震性の向上を図ることができた。</p> <p>図書資料について、図書館協議会や利用者から広く意見をもらい購入し、充実させることができた。</p> <p>今後は、新しい図書を十分活用していけるよう、PR活動等を考えながら運営を進める必要がある。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

45 文化会館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	41,055千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	4
活動内容	<p>年数経過に伴い施設の老朽化が著しいことから、緊急性の高いものから順番に修繕、工事を実施する。また、自主公演事業を開催し、市民が気軽に文化に触れる機会の充実に努める。</p>				
点検・評価	<p>館内の各種修繕及び舞台改修工事等を実施した。これらにより舞台の吊物を吊っているワイヤー、照明の主要ケーブルの交換を行い、利用者及び観客の安全が確保された。しかし、未だ損傷や経年劣化による改修必要箇所が多数あり、今後も継続対応していく必要がある。</p> <p>リハーサル室に単独のエアコンを設置することによって、大ホールの冷温水機の運転を控え灯油の節約に努めた。</p> <p>自主公演事業では、より親しめるイベントなど、出演者と協力し合い2回公演など新たな試みを実施し、観客に好評を得て集客につながった。また、市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。</p>				

46 交流センター運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	12,846千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	<p>自主的地域活動や団体等の研修及び会議等の場として広く利用されたほか、災害時の避難場所としても利用された。</p>				
点検・評価	<p>市内のみならず、市外からの利用者もあり、地域の活動の場だけでなく、多様なニーズに応えられたのは大きな成果であった。</p> <p>長年の経年劣化によって、建物、機械関係の老朽化が進み今後緊急性の高いものから順番に、修繕及び改修工事の必要がある。</p> <p>照明の間引きや室温管理の強化により節電に努めた。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

47 みちのく子ども風土記館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	547千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	渡辺喜恵子の顕彰館として、市民の芸術文化を高めるための場所として活用された。				
点検・評価	<p>各団体の活動場として多く利用され、芸術文化の向上に寄与した。一方、利用する団体が固定化されているため、今後より多くの市民や団体に利用してもらうための取り組みが必要である。</p> <p>利用者に節電を周知し、電力等の節電を強化した。また、高齢者の利用を考え、女子トイレ洋式化改修工事を実施し利用者より好評を得た。</p>				

48 浜辺の歌音楽館運営事業			主管課	生涯学習課	
予算現額	6,842千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	成田為三を顕彰するとともに、本物の音楽に触れる機会の創出を図ることを念頭に、浜辺の歌音楽祭、定期演奏会を実施する。また、成田為三を顕彰する音楽博物館としての充実化のため、資料の収集整理を図る。				
点検・評価	<p>浜辺の歌音楽祭では、声楽家の佐藤姉妹による記念演奏会を実施し、児童生徒、指導教諭、一般の合唱団員からも好評を得た。定期演奏会では、ピアノ・バイオリン・フルートの三重奏によるコンサートを実施し、普段聴く機会の少ない編成の演奏は、入場者からも好評価であった。「成田為三に関連した本物の音楽に触れる機会の創出」という路線は継続踏襲していきたい。</p> <p>平常の入館者数は年々減少傾向にあり、音楽博物館として資料の充実に努めるとともに、入館者の増加とリピーター獲得に向けた計画的な取り組みが必要である。</p>				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

49 中央公園野球場改修事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	914千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	体育施設の老朽化に伴う改修工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>中央公園野球場の施設で、塗装が剥げてサビが出ていた防球フェンスの支柱（一時的にネットを外した）及び付随する表示ポール2本、球場内への出入口4箇所の鉄扉の塗装工事を実施し、利用者の安全と利用環境が改善された。</p> <p>施設の老朽化に伴い、今後、本部棟の塗装工事などのさらなる改修が必要と思われる。</p>				

50 中央公園テニスコート改修事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	6,353千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	1
活動内容	体育施設の老朽化に伴い、環境整備のための新設工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	<p>中央公園テニスコートの全6コートは、フェンス金網及び支柱の腐食が激しい4コートと今後も継続して使用可能なフェンス金網の2コートに分かれており、また、コートの外周を囲むフェンスとの間に段差があり、簡易のネットでボールが落ちないように工夫をして使用してきたが、4コートを囲むフェンスの改修に伴い、フェンスの全面改修工事を実施し、全6コートを囲う新たなフェンスを取り付け、同時にフェンスの段差を解消し、利用者の安全と利用環境の改善が図られた。</p> <p>継続して使用可能な2コート分のフェンスについては、今後整備を予定している合川野球場のフェンスとして再利用することとした。</p>				

有効性・・・・・・1＝期待以下の成果　2＝期待どおりの成果　3＝期待以上の成果
費用対効果・・・・1＝課題あり　2＝予定どおりの費用対効果　3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・・1＝必要性が低い　2＝必要性が高い　3＝必要不可欠
方向性・・・・・・1＝廃止・休止　2＝縮小　3＝統合　4＝継続　5＝拡大

51 市民プールトレーニングルームエアコン整備事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	494千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	1
活動内容	体育施設環境整備のための新設工事を実施し、安全で快適なスポーツ環境の整備を図る。				
点検・評価	市民プールのトレーニングルームにはエアコンが設置されていなかったため、夏季の利用者から快適にトレーニングが出来ないとの声があり、エアコンの設置を検討した結果、合川高等学校で使用していたエアコンを再利用することによりコストを抑え、トレーニングルームにエアコンを取り付けたことにより、利用者の快適なスポーツ環境の整備が図られた。				

52 北秋田市体育協会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	1,200千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	体育協会加盟団体の活動や大会が円滑に運営されるために補助金を交付し、スポーツ振興を図る。				
点検・評価	北秋田市体育協会に加盟する24団体の各種大会の支援や北秋田市スポーツレクリエーション大会、北秋田市スポーツ賞表彰式を主催し、市のスポーツ振興を図るうえで重要な役割を果たした。また、大会等の開催により会員相互の親睦や地域の活性化に貢献した。 平成23年10月より、体育施設管理業務について業務委託を実施したことから、今後、補助金の額等について検討が必要と思われる。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

53 平成23年度北秋田市スキー大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	1,930千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	各種スキー大会が円滑に運営されるために補助金を交付し、青少年の健全育成と体力増進を図る。				
点検・評価	<p>第64回大館・北秋田中学校スキー大会（距離競技22人・大回転競技18人）、第57回北秋田市学童スキー大会（距離競技197人・大回転競技65人）、第5回北秋田市民スキー大会（距離競技小学校の部216人・一般の部6人、大回転競技小学校の部56人・一般の部15人）、第47回大館北秋田スキー米内沢大会（回転競技中学校の部16人・小学校の部49人）を開催し、青少年の健全育成と体力向上が図られた。</p> <p>大館・北秋田中学校スキー大会の運営については、今後、協議が必要と思われる。</p>				

54 100キロチャレンジマラソン大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	3,260千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	100キロチャレンジマラソン大会運営が円滑に運営されるため、補助金を交付し、地域の活性化を図る。				
点検・評価	<p>第21回大会に、県内外から100キロの部に1,277人、50キロの部に362人、合計1,639人のランナーが参加し、地域ボランティア約2,000名の協力に支えられ、実施された。</p> <p>地域のイベントとして定着し、経済効果とともに北秋田市の活性化に大きく貢献していると思われる。</p>				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

55 県民歩くスキーのつどい補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	360千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	県民歩くスキーのつどいが円滑に運営されるために補助金を交付し、市民の健康増進と親睦を図る。				
点検・評価	<p>第32回県民歩スキーのつどいを開催し、幼児から高齢者まで331人の参加者が、1kmコース・3kmコース・5kmコース・8kmコースの4コースをそれぞれのスピードで歩きながら雪に親しみ、冬季の体力づくりや親と子のレクリエーション等により、お互いの親睦が図られた。</p> <p>また、地元桃栄集落の婦人会に依頼し、豚汁のサービスを実施していることから参加者に喜ばれている。</p>				

56 夏井昇吉旗争奪柔道大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	108千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	大会が円滑に運営されるために補助金を交付し、スポーツ少年団の健全育成を図る。				
点検・評価	合川体育館を会場に毎年開催している第18回夏井昇吉旗争奪全県選抜柔道大会（小学生スポーツ少年団3チーム・中学校男子団体27チーム・中学校女子団体16チームの計46チーム）の大会開催支援により、スポーツ少年団及び中学生の健全育成と地域の活性化が図られた。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

57 北秋田市スポーツ少年団補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	180千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活動内容	北秋田市スポーツ少年団に活動のための補助金を交付し、青少年の健全育成を図る。				
点検・評価	北秋田市スポーツ少年団に登録されている21団の活動育成支援、指導者139人・本部登録者27人・団員763人の各種研修会参加支援及び指導者、育成母集団研修等の活動支援により事業が円滑に運営され、青少年の健全育成が図られた。				

58 北秋田市・上小阿仁村ミニバスケットボール大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	90千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	合川体育館を会場に毎年開催している第6回北秋田市・上小阿仁村ミニバスケットボール大会（小学校9チーム）が円滑に運営されるための補助金を交付し、青少年の健全育成を図る。				
点検・評価	大会開催により地域の子供達の健全育成と交流が図られた。				

59 第54回秋田県体育指導委員研究大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	100千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	1
活動内容	体育指導委員研究大会に補助金を交付し、円滑な大会運営を図る。				
点検・評価	県内の市町村を会場に開催している研究大会の、平成23年度開催地となった北秋田市において、第54回秋田県体育指導委員研究大会が円滑に開催されるための補助金を交付し、研究協議・記念講演・交流会・実技研修会を実施し、活動の資質向上に向け研修とお互いの親睦を図ることに貢献した。				

有効性・・・ 1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
費用対効果・・・ 1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
必要性・・・ 1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
方向性・・・ 1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大

60 全県選抜柔道大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	180千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	全県高校柔道大会の円滑な運営のため補助金を交付し、青少年の健全育成を図る。				
点検・評価	森吉総合スポーツセンターを会場に毎年開催している第50回全県選抜高等学校柔道大会（20校）・第14回全県選抜高等学校女子柔道大会（10校）の開催支援を行い、青少年の健全育成・レベルの向上と地域の活性化が図られた。				

61 北秋田市民水泳大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	200千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	北秋田市水泳競技の円滑な運営のため補助金を交付し、青少年の健全育成を図る。				
点検・評価	北秋田市地域の水泳競技の普及と水泳に親しむ底辺の拡大を図ることを目的に、北秋田市民プールにて開催された第1回北秋田市縄文水泳競技大会（個人156人・リレー13チーム）が円滑に運営され、北秋田市の水泳普及と底辺の拡大が図られた。				

62 小・中学校バスケットボール大会補助事業			主管課	スポーツ振興課	
予算現額	108千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活動内容	バスケット大会が円滑に運営されるために補助金を交付し、青少年の健全育成を図る。				
点検・評価	合川体育館を会場に毎年開催している平成23年度北秋田市・北秋田郡中学校新人バスケットボール大会（小学校ミニバス8チーム・中学校男子2チーム・中学校女子4チーム）・第17回合川招待女子小中学校バスケットボール大会（8チーム）の開催への支援を行い、青少年の健全育成と円滑な大会運営によりレベルの向上と地域の活性化が図られた。				

有効性・・・1＝期待以下の成果 2＝期待どおりの成果 3＝期待以上の成果
 費用対効果・・・1＝課題あり 2＝予定どおりの費用対効果 3＝予想以上の費用対効果
 必要性・・・1＝必要性が低い 2＝必要性が高い 3＝必要不可欠
 方向性・・・1＝廃止・休止 2＝縮小 3＝統合 4＝継続 5＝拡大